

明海大学不動産学部

不動産の不思議

学生たちの視点と発見

第455回

【学生の目】

足早に秋が過ぎよつとする休日、小学校の前でガラス面を覆う緑のカーテンが目に入った(写真)。夏が過ぎたことをヘチマの実が語っている。緑のカーテンは

IoT住宅の推進

熱を通しやすいガラス面の前に植物を茂らせて日射を遮り、外気温の変化が室内温度に与える影響を少なくすることが主な狙いだ。省エネが目的だが、水やりや施肥のほか、雄花と雌花の交配も学修の一環となる。ローテクな断熱手法だが情操教育の側面も見逃せない。



藤原 龍男
不動産学部4年

対比的にハイテクな断熱方法として、電動ガラリを設置するところだろう。例えば住宅ではIoT住宅の一要素として窓面に自動開閉式のガラリを設置し、遠隔操作や人工知能で開閉する。IoTはあらゆるものがインターネットでつながり、暮ら

しが大きく変わるとされる。国土交通省は「IoT技術等を活用した次世代住宅懇談会」(16年)の意見交換を踏まえた次世代住宅プロジェクト

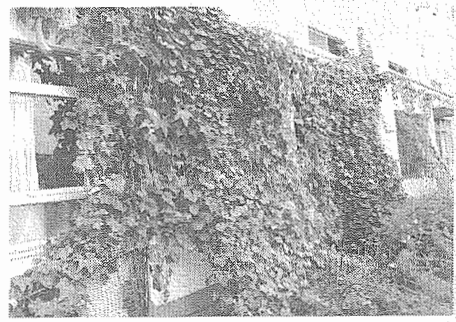
住宅の劣化状況見える化も

トで補助金を出すなど、IoT住宅の普及を図る。

さで売り上げる戦術面も否定できない。技術革新の進展は一方で陳腐化の促進を意味する。消費者は買った後のほうがより重要である。

維持・増進、防犯や見守りなど住まいの安全・安心、スマートメーターやHEMSなど省エネルギー・省資源化、家事の効率化や再配達率の低減など生産性・効率性の向上などが可能とされ、住宅や住生活の質の向上を図る。要約すれば、快適性と

医療ではレントゲンや胃カメラなどハイテク技術で見えないものを見る化し、健康増進を実現した。天井裏や壁の中、木材や設備の状態をモニタリングして劣化を診断するなど、見えない部分を見える化して



緑のカーテンは、ローテクな断熱方法

「住宅の健康増進」に貢献する消費者目線のIoTも期待したい。

参考文献=https://www.mit.go.jp/common/001285725.pdf
https://www.jutakujohkan.co.jp/article/2020/04/18/lot-housing/#lot

【教員のコメント】

モダン・タイムスでチャップリンは機械文明で個人の尊厳が失われる様を函車に巻き込まれて表現した。Society5.0で「情報文明」は加速するが、個人の尊厳を欠け機械を情報に代えた100年近く前の喜劇が今に妥当しかねない。